

科目区分	専門分野	授業科目	小児看護方法論Ⅱ
講師名	崎野愛・佐藤 瑞紀	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 後期
<p>目的： 健康障害をもつ小児及びその家族と健康状態に応じた看護を理解する。</p> <p>目標： 1) 小児期の経過別看護を理解できる。 2) 主要症状別看護を理解できる。 3) 診察・検査時の看護を理解できる。 4) 小児基礎看護技術を理解し、安全安楽に実施する方法を習得する。</p>			
回	時間	講義内容	
1	2	症状を示す子どもの看護	・痙攣・発熱・嘔吐・下痢・脱水
2	2	染色体異常・体内環境により発症する先天異常と看護	・出生前後の看護 ・ダウン症候群、18トリソミー症候群の看護
3	2	代謝性疾患と看護	・1型・2型糖尿病をもつ子どもの看護
4	2	内分泌疾患と看護	・下垂体疾患・先天性副腎過形成症・甲状腺疾患の子どもの看護
5	2	免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護	・食物アレルギー・気管支喘息の子どもの看護
6	2	感染症と看護	・風疹・麻疹・水痘・流行性耳下腺炎・急性灰白髄炎・髄膜炎・百日咳の子どもの看護
7	2	呼吸器疾患と看護	・かぜ症候群・肺炎の子どもの看護
8	2	循環器疾患と看護	・川崎病の子どもの看護 ・事例展開
9	2	消化器疾患と看護	・腸重積・急性胃腸炎の子どもの看護
10	2	悪性新生物と看護	・白血病と子どもの看護
11	2	腎・泌尿器および生殖器疾患と看護	・ネフローゼ症候群の看護
12	2	運動器疾患と看護	・発育性股関節形成不全・先天性内反足・先天性筋性斜頸・特発性脊柱側弯症・骨折した子どもの看護
13	2	耳鼻咽喉疾患と看護	・中耳炎・扁桃摘出を受ける子どもの看護
14	2	重症心身障がい児(者)の看護	てんかん 脳性麻痺 疾患を持つ患者の看護

15	2	単位認定試験	筆記試験
講義方法	(講義 28 時間, 演習 4 時間)		
評価方法	単位認定試験 筆記試験 100 点		
テキスト	【教科書】 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学①		
備考			